

# MRI問診チェックマニュアル

※以下は2024年10月時点の一般的な内容です。

基本は製品の添付文書を確認してください。

原則、妊娠中患者の検査は行いません。

閉所恐怖症の患者は事前にお知らせください。

## 1. 下記の手術をされたことがありますか？

項目	検査の可否
心臓ペースメーカー	全て <b>不可</b> （条件付きMRI対応機器でも検査 <b>不可</b> ）
植込型除細動器 (ICD、CRT)	全て <b>不可</b> （条件付きMRI対応機器でも検査 <b>不可</b> ）
人工内耳	<b>不可</b> 。条件付き（MR Conditional）も <b>不可</b> 。 ただし添付文書に1.5T 装置可とあれば可能。
消化器止血クリップ	一部 <b>不可</b> 止血クリップ。オリンパス製 HR-610シリーズ等は脱落が確認できるまでMRI検査を控えるように添付文書に記載されている。
可動型義眼	全て <b>不可</b> 。（眼球摘出を行われている場合）ハイドロキシアパタイト人工眼球移植により正常眼とまったく変わらない動きをする義眼
神経刺激器（SCS）	条件付き（MR Conditional）も <b>不可</b> 。 ただし添付文書に1.5T 装置可とあれば可能。
乳房拡張器	ナレトル133ティッシュ・エキスパンダは <b>不可</b> 。
脳動脈クリップ	MRI対応金属（チタン）であれば検査 <b>可</b> 。それ以外は <b>不可</b> 。 MR対応か確認してください。
心臓人工弁	一部 <b>不可</b> 近年のものは検査 <b>可</b> 。 Star-Edward600番以前（1970年以前）の製品は禁忌とされる。
ステント・フィルター	心臓ステント：検査 <b>可</b> 。 ステントの種類によっては留置後3か月以降で可 大動脈ステント：一部検査 <b>可</b> (添付文書確認)
眼部インプラント	眼球付近は特に注意が必要で必ず添付文書を確認する。鉄片など強磁性体の破片がある場合も失明例があり禁忌。
脳脊髄シャント	<b>不可</b> の製品あり。 ロック構造のない圧可変式バルブを使用している場合は撮影後に設定変化の有無をチェックする必要がある。貴院でチェックできない場合は <b>不可</b>
血管内留置カテーテル	一部 <b>不可</b> 。スワンガンツカテーテル、硬膜外麻酔用カテーテルの一部など検査 <b>不可</b> 。
磁力型義眼義歯	取り外すことで検査 <b>可</b> 。磁場によって活性化するもの 磁力で装着する義眼、磁石部分が着脱不能な義歯、Tissue expander等は禁忌。

## 2.下記の物が体にありますか？

項目	検査の可否
人工骨頭・関節・釘	<p>同意の上、検査可</p> <p>添付文書に安全と記載されていても発熱による熱感のリスクはあるため、異常を感じた場合は速やかに知らせてもらう対策で検査を行っている。※発熱は稀なケースで、通常起こらない。</p>
入れズミ	<p>同意の上、検査可</p> <p>入れズミやアートメイクの着色顔料やインクは金属を含む場合があります、過去に熱傷を生じたとする事例報告があります（稀なケース）。近年のインクには金属アレルギーを考慮して金属を使用されていないものが多いようです。熱を感じた時は技師に伝えてもらい直ちに検査を中断するようにしていますが、実際には低温火傷となり検査終了後に発覚することが多いようです。肌を観察しながら検査を施行することは困難ですので、上記の説明をし同意を得た上で検査を行っています。</p>
アートメイク	入れズミと同様の対応
手足ネイル（ジェルネイル・マグネットネイル）	取り外していただくことで検査可。取り外せない場合は相談に応じますが、発熱や変色のリスクに同意が必要。
ニトロダーム/ニコチネル/ノルスパンテープ	取り外していただくことで検査可。
持続グルコースモニタ（リブレなど）	<p>添付文書に従う。一般的に禁忌。取り外すことで検査可。</p> <p>交換時期に検査を行えば経済的負担が軽くなります。</p>
義足・義肢・義眼	金属を含むものがあれば取り外していただくことで検査可。
歯列矯正用具	<p>同意の上、検査可</p> <p>歯列矯正のワイヤー（テクノフレックス）の添付文書には「線が加熱され、火傷の原因になるため、MRI検査時には本品装着中である旨を伝えること」と記載されている。禁忌との記載はないため、異常を感じた場合は速やかに知らせてもらう対策で検査を行っている。※発熱</p>